

【企画セッション】

※参加費無料、事前申込不要です

【2019年度初等中等教育における

GIS を活用した授業に係る優良事例表彰】

オーガナイザー： 貞広幸雄（教育委員会）

19日（土）10：20～12：00／会場A

2019年度に実施された、初等中等教育においてGISを活用した授業のうち、優良事例について表彰し、その内容を発表する。

【学生フリーテーマ発表会 2019】

オーガナイザー： 相尚寿（若手分科会）

①19日（土）10：20～12：00／会場B

②20日（日）12：20～14：00／会場B

発表の分野、テーマは自由、ただし発表資格者は学生に限るという学生フリーテーマ発表会を今年も開催します。

通常の口頭発表セッションはテーマ別のパラレル制であるため、なかなか異分野の発表を聞く機会はありませんが、この発表会はテーマを限定せず、応募内容に関係なくランダムに発表順を決めています。

2セッションに分かれていますが、内容は同一ではなく、それぞれに異なる発表者が口頭発表しますので、両方へのご参加も大歓迎です。

優秀な発表した学生さんを表彰する制度も設けています。受賞者を決めるのは当日会場にお越しいただいた皆さんによる投票です。

各セッションの発表者はwebおよび論文集（CD-ROM）のプログラムをご参照ください。

【IAG'i Keynote speech】

19日（土）13：20～14：20／会場A

“Korean Peninsula DMZ and GIS”

Kim Chang-Hwan (KAGIS)

“A generalized conceptual framework for eco-environmental
vulnerability assessment at different scales and timespans”

Yuei-An Liou (TEGO)

“Large-scale comparison of landforms in Japan, Korea and Taiwan using
DEMs”

OGUCHI, Takashi (GISA)

【第14回マイクロジオデータ研究会「国内外におけるマイクロジオデータを活用した自然災害への対応とその課題】

オーガナイザー：秋山祐樹

19日（土）14:30～18:10／会場A

我々は2011年に「マイクロジオデータ研究会」を発足させ、マイクロジオデータ(MGD)の普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行ってきました。MGDとは位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細な（例えば建物や人単位）データや統計の総称のことを言います。MGDは既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな分析や計画支援等への利活用が期待されています。

近年、MGD研究会はMGDに関連した研究だけでなく、「実社会での活用」にフォーカスを当てた活動にシフトしつつあります。そこで第14回となります今回は、近年激甚化する自然災害、そして近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等への対応に、マイクロジオデータを含む統計・地理空間情報を活用することで何がどこまで出来るのか、今後はどのようなことができるようになる可能性があるのか、そしてどのような課題があるのか、について国内外の事例を交えつつ議論を深めたいと考えています。

【クラウドソース型地理情報の可能性と課題】

オーガナイザー：西村雄一郎

19日（土）14:30～16:10／会場B

さまざまなクラウドソース型地理情報が既に公開され、さまざまな形で利用されている。それらが地理情報の収集・共有の新しい形を示している。一方でこのようなクラウドソース型地理情報の利用共有においては、プライバシー、データの品質の問題や虚偽情報の意図的な掲載などの問題もまた生じている。こうしたトピックにまつわるセッションを開催する。

【役立つビジネスGIS】

オーガナイザー：高阪宏行（ビジネス分科会）

19日（土）16:30～18:10／会場A

地理情報システム学会にビジネス分科会を立ち上げてから、すでに15年が過ぎた。そこで、ビジネスGISの現状と課題を議論するセッションを企画する。セッションでは、AIなどの技術進歩、8分の1地域メッシュデータなどの新たな詳細データの出現、GISを用いた小売店舗の商圏設定といった最近の話題を発表する。GISを利用することによって、何が進歩し、何が今後の課題なのかを考察する。

【パーソナルデータにつながる位置情報の取り扱いについて】

オーガナイザー：青木和人（自治体分科会）

20日（日）9:00～10:40／会場A

マイナンバーの普及に伴い、2016年に内閣総理大臣所轄の行政委員会である個人情報保護委員会が設立され、今、改めてパーソナルデータに关心が高まっています。

そこで、本セッションでは位置を特定する情報（住所・住居表示（フロンテージ）・番地・地番）について整理した上で、話題提供者から位置情報がパーソナルデータにつながる様々な事例を紹介いただきます。その後、参加者によるグループディスカッションを行い、位置情報がパーソナルデータにつながるケースについて、参加型で議論を深め検討します。”

【GeoAI で地理空間を超える GIS】

オーガナイザー：巖網林（IoT×GIS 分科会）

20日（日）12:20～14:00／会場A

IoTとビッグデータによってGISはより速く、すばやく、正確へ向かいます。中でもGeoAIは中心的な役割を占めて、そこから従来の地理空間を超えるGISサービスが生まれる。本セッションは概念定義、標準化、エンジン開発、IoTとの関係、社会インフラへの応用などの側面からGeoAIを報告し、同分野の現状、課題、今後の発展方向を検討します。

【地図アーカイブの利活用と社会実践】

オーガナイザー：岩崎亘典/瀬戸寿一/阿児雄之

20日（日）14:20～16:00／会場A

近年、大学、図書館、博物館、研究機関等の組織が所有する古地図、旧版地形図等のWeb上での公開が進み、その方式も多種多様である。また、そうして公開された古地図等を活用するためのサービス等も構築されつつある。

このような地図アーカイブが公開することは重要であるが、加えてそれが実際に活用されることによりさらなる意義を持つことになる。本シンポジウムでは、こうした古地図アーカイブの構築、公開、活用を進めるために、どの様な取り組みや環境整備が必要なるかについて、広く検討したい。